

# すぐに使えるプログラム

Vol.140

## 海藻おしば

**ねらい** 作成段階では、海辺や海藻が生えている海底を含めた環境を考えるきっかけにもなります。仲間と一緒に取り組むことにより、コミュニケーション能力も高まります。

**時間** 1日以上

**場所** 海

**人数** 一人・数名・数十名

**季節** 春～秋

**用具** バケツ、バット（白）、多種多様な海藻、ポリ袋、輪ゴム、水道水、ピンセット、台紙、すのこ板、冷蔵庫

### 手順

#### 1 採集

干潮時の磯や、水辺にある海藻を採集します。採集したら水を切ってポリ袋やバケツに入れましょう。この時、太陽の光が当たらないように注意し、持って帰りましょう。

#### 2 保存

1～2日後におしばにする場合：水道水で洗わずポリ袋に入れて、冷蔵庫に保存します。  
長期間保存する場合：海水か水道水でゴミや砂を落とし、小さなポリ袋に分けて入れ、水や空気が入らないようにしながら口を輪ゴムで閉じて冷凍します。

#### 3 塩抜き

ゴミや砂を水道水で落としたあと、水道水に漬けておきます。薄いものは数分、厚いものは10分ほどでよいです。冷凍したものは、水道水で解凍し、塩分を抜きましょう。

#### 4 海藻を台紙にのせる

バットに水道水を満タンに入れ、塩抜きが済んだ海藻を入れます。その下に海藻よりひとまわり大き目の台紙を入れます。海藻と台紙を水面に浮かべ、手のひらで支えながら、ピンセットまたは楊枝で海藻の形を整え、そのまま押し上げるようにして水から上げます。

#### 5 水切り

すのこ板などを斜めに置き、海藻がのった台紙を張り付けて、海藻や台紙の表面の水が垂れるのを待ちます。長く置くと、海藻が縮んだり台紙が曲がったりするので、5分くらいを目安にします。

#### 6 吸取紙にはさむ

ダンボールの上に吸取紙をのせ、その上に海藻がのった台紙を隙間のないように並べ、更にその上に布、吸取紙、ダンボールを順に重ねます。これを繰り返して、最後に厚い板をのせ、その上に重石をのせます。布は、海藻が糊分で吸取紙に張り付くのを防ぐ役目をします。

#### 7 乾燥

ダンボールの目に向かって扇風機などで風を送ると、薄いものは一晩、かなり厚いものでも2～3日で乾きます。ダンボールを使わない場合は、吸取紙を朝夕ごとにとりかえましょう。この場合は2～4日かかります。

#### 8 完成

乾いたらダンボールや吸取紙を取り除き、布を丁寧にはがします。このときはがれていたら合成糊で張り、布をかぶせ半日ほど押しおきます。海藻が縮んだり台紙にしわができていたりしたら、もう一度水に漬けて押しなおします。

#### 9 加工と保存

完成したものをラミネートすると、傷みにくくなり、しおりにすることもできます。額に入れて飾る場合は、強い光を避けるの色を長く保てます。いろいろアレンジして楽しみましょう。

### ポイント

海藻の色は大変デリケートなので、扱いには注意する必要があります。採集から仕上げまでにわたって、簡単な要領や記録を残すと良いでしょう。

